

進路だより第5号



令和8年（2026年）
7月30日発行
球磨支援学校進路指導部

中学部 作業学習を終えて

中学部では、6月1日（月）から6月19日（金）までの3週間、3・4限目に全員で作業学習に取り組み、和紙製品作りを行いました。

毎回、作業前にミーティングを行い、日程や目標、作業中に気を付けることなどを確認しました。作業後のミーティングでは、「〇〇枚できました」「〇〇を頑張りました」という報告が聞かれ、「やったぞ」という充実した表情が見られました。

挨拶の他、エプロンを着用して服装を整えること、「できました」「手伝ってください」と報告・相談をすること、「ミキサーの中に手を入れない」など安全面に気を付けることなど、働く上で大切なことを、日に日に意識して行うことができるようになりました。

次の作業学習は9月に計画しています。また、作業学習で作った和紙製品は2月のひな市で販売する予定です。これから作業学習を重ね、さらに働く力を身に付けてほしいと思います。

作業学習で必要な力は、日常生活とつながっています

服装を整えて



「終わりました」の報告



「丁寧に」「安全に」を意識して



使った道具は洗って乾燥させます



作業後ミーティングでの振り返り発表



学校での作業学習		家庭・日常とのつながり
エプロンを着用し服装を整える	⇔	TPO に合わせた服装を選ぶ、外出後の着替えや準備を自分で行う習慣につながります。
水を含んだマットを強く絞る	⇔	手伝いでのテーブル拭きや、手洗い後・掃除の際の雑巾絞りに生かされます。
線に沿ってはさみで丁寧に切る	⇔	食品パックの開封や、調理時の包丁・はさみ使いなど生活の中の手先動作につながります。
「終わりました」「教えてください」	⇔	困ったときに一人で抱え込まず、家族や周囲に助けを求めたり、完了を伝えたりする力になります。

御家庭でできる「声かけ」と「サポート」のヒント💡

御家庭での手伝いや着替えの場面でも、作業学習と同じような言葉掛けをしていたくと効果的です。

- ・「服の裾を整えてみようか」と具体的に声をかける。
- ・手伝いが終わったら『「終わりました」って言えたね!』と、報告ができたことをしっかり褒める。

小さな「できた!」の積み重ねが、将来の「働く力」「社会で豊かに生きる力」の大きな土台となります。